

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年3月31日
南信州地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	2	課題区分	C		
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属 林務課
事業名	竹取再生講演会及び事業説明会の開催			電話	0265-53-0425
				E-mail	minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	放置竹林に対して所有者等の問題意識喚起及び竹林整備意欲を高めるとともに、地域住民の自主的活動を促す。			
	現状と課題	プラスチックの普及による竹林利用の減少、安価な中国産タケノコの流通増加等の影響により放置竹林が目立ってきており、リニア新時代に向けて、地域の景観形成や竹資源活用が求められている。			
	内容 (変更後の内容)	●講演会の開催 竹林を先進的に活用している実践者の活動発表会を開催する。 ●説明会の開催 地域住民の自主的活動を促すため竹林整備に活用できる支援策を説明する。 (講演会・説明会開催後も普及啓発を継続し、竹林整備の自主的な活動を促す。)			
	事業期間	平成30年4月25日		～	平成31年3月31日
成果目標 (成果指標)	・講演会聴講者数 50名 ・支援策を活用した竹林整備活動等の促進				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	講演会の実施	講師謝金	10,600	平成30年度県統一単価 講師手当 臨時大学准教授級 5,300円/h × 2時間	
	合計		10,600		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	○平成30年4月25日(水)に開催。 ○天竜川鷺流峡復活プロジェクト代表 曾根原宗夫氏より、「放置竹林を地域のお宝へ 環境と観光と地域作り」と題し、地域住民(地元小中高生含む)の参画を得た放置竹林の整備等の取組について講演いただいた。合わせて、竹林整備に活用可能な支援事業や技術相談窓口等を説明。 なお、その後、同プロジェクトで製造している国産メンマを「おいしい部長会議」で披露するなど、県庁林務部と連携して同プロジェクトの取組をPRし、地域住民の竹林整備意欲を喚起した。		○講演会・説明会参加者:約50名 ○放置竹林に悩む地域住民の方は多く、天竜川鷺流峡復活プロジェクトの住民協働で楽しみながらの取組に興味を持って聴講いただけた。 ○その後開催した竹林整備の技術講習会には、多くの地縁団体や住民グループの方に参加いただき、竹林整備等への意欲を喚起することができた。		● 期待以上 ○ 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	○地域住民に対し竹林整備等の意欲を喚起するため、竹林整備技術や竹資源活用策の普及指導に取り組む。特に、地場産メンマは、継続した竹林整備の取組に有効な活用策のため、その普及促進に取り組む。				